

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこどもラボ東雪谷			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数)	17人
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ヨガ、アート、運動遊び、頭脳遊び、体験活動、イベントなど5領域に基づく活動やプログラムを実施している。	・活動やプログラムにおいては、一人ひとりの思いや心身の成長をしっかりと捉えながら参加の方法や楽しみ方を工夫している。	・活動やプログラムを通して色々なことを経験し、次への興味や自信へと繋がっていくようにしっかりと寄り添いながら支援していく。
2	・安心して伸びのびと過ごせる環境を整備している。 ・子どもたちの活動に合わせた空間を整備している。	・工作材料や画材など、使いたい物をすぐに手に取ることができるよう環境を整えている。 ・子どもたちそれぞれがやりたいことに取り組んでいけるように活動毎にコーナー分けを行っている。	・子どもたちそれぞれが伸びのびと自己表現を楽しみ、満足感や達成感を感じていけるように引き続き備品や環境を整備していく。
3	・子どもたちが通所を楽しみにしている。	・子どもたちが安心して何でも話をしたり、色々なことに伸びのびと取り組んだりしていけるように明るく楽しい雰囲気作りに留意している。	・子どもたちが伸びのびと自己を表現していく中で、満足感や自己肯定感が高まっていくように引き続き寄り添い支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校、放課後児童クラブ、児童館その他、地域の他の子どもと活動する機会を設けていく。	・個性として、知らない人や不特定多数の人との接触が苦手な子どもがいる。 ・ニーズがマッチングしなかったり、人員体制的に制約があったり、積極的に取り組むことが難しい。	・子ども一人ひとりの思い、保護者のニーズ、地域のニーズ等をしっかりと把握し、公園遊びの場面など様々な機会を足がかりにしながら取り組んでいく。
2	・家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）、家族等も参加できる研修会、情報提供の機会等を設けていく。	・コロナウイルス感染症の拡大以降、親子参加型イベントの開催が減り、その後もニーズが低い状況が続いた。	・ニーズをしっかりと汲み上げながら様々な機会を検討していく。 ・保護者とのコミュニケーションをさらに深め、子育ての相談やアドバイスにも注力していく。
3	・父母の会、保護者会等の家族支援やきょうだいへの支援の機会を設けていく。	・コロナウイルス感染症の拡大以降、保護者懇談会等の開催が減り、その後もニーズが低い状況が続いた。	・ニーズをしっかりと汲み上げていくとともに、足元の衛生環境、子どもたちの健康状態等をしっかりと見極めながら様々な機会を検討していく。 ・家族支援やきょうだい支援について、個別ケース毎の対応にも注力していく。